

◆研修会特集◆

## 新インターフェイスPubMedの使い方

—『図解PubMedの使い方』を改訂して—

奥出 麻里

抄録：2009年10月にPubMedの画面がリニューアルし、日本医学図書館協会では2010年3月、『図解PubMedの使い方』の改訂第4版を出版した。初版から第3版では著者として、今回の第4版には監修者として関わったことをもとに、今回の新しいPubMedの変更点について概説した。また、病院図書室としてよく利用する機能としてAdvanced SearchやLimitsのほか、文献書誌確認のためのSingle Citation Matcherやその他の方法について解説した。MyNCBIやLinkOutなどのPubMedのカスタマイズについても触れた。今回の『図解PubMedの使い方』改訂第4版の編集途中ではLimits画面の独立もあったが、急遽校正の差替えをし反映することができた。

Key Words : PubMed, Advanced Search, Limits, Single Citation Matcher, MyNCBI, LinkOut

### I. はじめに—図書室紹介

今回『図解PubMedの使い方』<sup>1)</sup>を3月に改訂したこともあり、リニューアルしたPubMedの変更点や病院図書室でよく使う機能などについて解説します。

その前に私の勤務する病院とその図書室について簡単にご紹介します。JFE健康保険組合川鉄千葉病院は創立1966年、ベッド数351床、診療科17科の一般病院です。千葉市内JR蘇我駅近くにあり。職員数約560名、医師数約60名です。

図書室概要は、(表1)のとおりです。One Person Libraryで日赤病院図書室勤務の皆さま

まとはほとんど同じ状況だと思います。日赤グループのようにコンソーシアムを作ることが

面積	162m <sup>2</sup>	座席数	12席	
パソコン	5台	複写機、FAX	各1台	
職員	は24時間利用可能			
図書館システム	開発中			
蔵書数	単行書8,080	製本雑誌	13,402	
	計21,482冊			
現行受入雑誌数	国内211	外国	93	
	計304誌			
平成21年度経費	計16,147,000円			
平成21年度利用実績				
貸出数	単行書1,009	雑誌	676	
	計1,685冊			
相互貸借件数	依頼	339件	受付	664件
	NACSIS/ILL相殺サービス参加			
館員	専任1名(司書、ヘルスサイエンス情報専門員上級、サーチャー2級、社会情報学修士)			

OKUDE Mari

JFE健康保険組合川鉄千葉病院図書室

satou@aqu.bekkoame.ne.jp

表1 川鉄千葉病院図書室概要

なかなかできないので、電子ジャーナルの導入は遅れており、まだまだ冊子体の雑誌を購読しています。

## II. PubMedとは

PubMedはNLM (National Library of Medicine : 米国国立医学図書館) が提供している医学関連文献データベースで、インターネット上で無料で利用できます。1997年6月、Free MEDLINEとして無料公開されました。

もともとIndex Medicus、Cumulated Index Medicusという冊子体からMEDLINEという「パソコン通信」でのオンライン時代を経て、MEDLINE CD-ROM、そしてMEDLINEのインターネット時代につながっています。それまではかなりコストがかかっていたので、無料公開された時はたいへん衝撃的でした。

現在はPubMed Centralなど全文がpdfファイルで閲覧可能な文献も増加しています。

PubMedの概要を(表2)にまとめました。更新も早く、タイムラグもほとんどなくなってきました。2010年7月27日に収録件数2,000万件を突破しました。

表2 数字でみるPubMed

検索対象年	1948年～現在まで
収録雑誌数	約5,400誌 約80か国
日本出版の雑誌数	162誌
収録件数	約2,000万件
更新	5日/週
年間追加文献	約76万件
抄録付与率	80%以上
検索アクセス数	約300万回/日
言語	英語90%
	米国で発表された文献43%

## III. PubMed変更点

2009年10月、PubMedはリニューアルしました。フロントページのデザインが一新したので戸惑われた方も多かったことでしょう。しかし基本的にできることはほとんど同じですので、気軽に検索してみてください。シンプルなデザインはやはりGoogleを意識したものと考えられています。ここでは変更点を簡単に概説します。細かい点についてや詳しい検索法そのものについては、『図解PubMedの使い方』<sup>1)</sup>、その他文献が多数出版されていますので、そちらにゆずります<sup>2~5)</sup>。

2010年2月、Limits画面が独立しました。それまではAdvanced Search画面の中に一緒にLimitsも入っていました。それが不評だったのかもしれませんが。

### 1. フロントページなどのデザイン

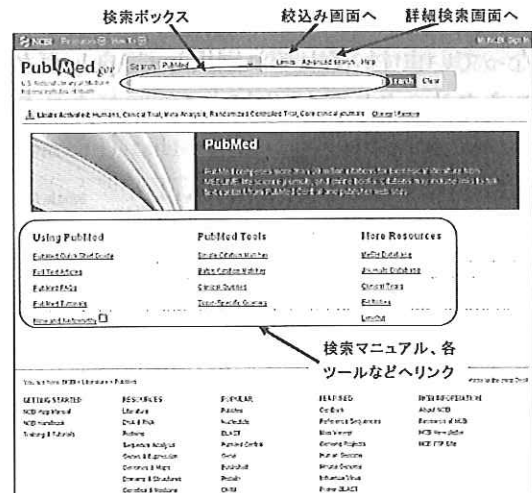


図1 リニューアルしたPubMedのフロントページ

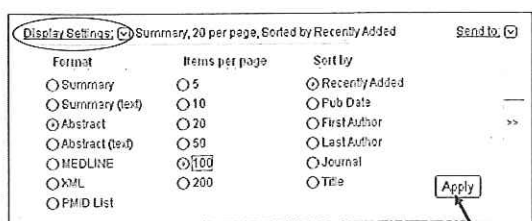
(図1)は、PubMedフロントページです。通常はこの「検索ボックス」にキーワードを入力してSearchボタンをクリックします。画面右上に重要ですが小さく、Limits(絞込み画面へ)、Advanced search(詳細検索画面へ)、及びHelpがあります。

中央付近には、Using PubMed (PubMedを使うには)、PubMed Tools (PubMedツール) More Resources (PubMedその他の情報源) と3つにグループ分けしてあり、各ツールなどへリンクしています。ぜひ、それぞれ一度はクリックしてみてください。特にPubMed Tutorialsは楽しく簡単に使い方を学べます。

下段の部分は、PubMed以外のNLMのデータベースなどにリンクしています。

## 2. 設定方法

検索結果の表示形式、出力方法は整理されて便利になりました。表示形式のデフォルトはSummary形式で、1ページ20件表示、Recently Added (新しい文献順) ですが、これらを変更するにはDisplay Settingsをクリックします。その設定画面で、Format (形式)、Items per page (1ページの表示件数)、Sort by (並べ替え) が一緒にできるようになっています。それぞれ選択してApplyボタンをクリックします (図2)。



それぞれ選択してクリック

図2 Display Settingsの設定

出力方法は、検索結果の右上のSend toをクリックします。そこでは項目が整理され、File、Clipboard、Collections、E-mailなどを選ぶことができます (図3)。

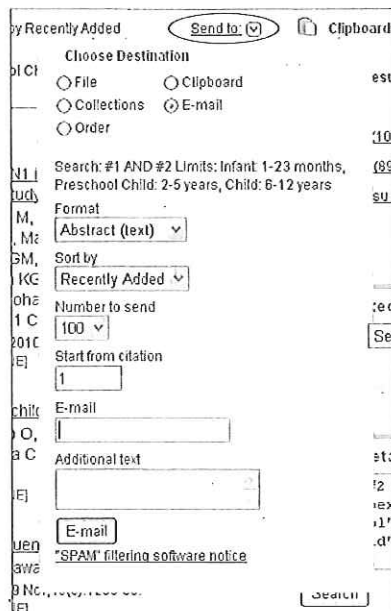


図3 Send to画面でe-mailを選択

## 3. 検索機能

検索機能としてAuto Suggest (オートサジェスト) 機能があります。いくつか文字を入力し始めると、各種センサーが起動し、勝手に「これどうぞ」と次々に表示されます。その中から選択すればよいので、スペルミスなどは防げます。しかし、鬱陶しいと感じる方は、メニューの一番下にあるTurn offをクリックしてください。元に戻すには、右側メニューのRecent activityにあるTurn offをクリックするとTurn onになりますし、8時間経つと他の検索結果などと同様にクリアされ、元に戻ります。センサーは検索結果に対しても作動し、画面右側メニューにさまざまな情報を表示しています。

## IV. 病院図書室での利用

おもに病院図書室でよく利用する機能について、いくつか取り上げてみたいと思います。

### 1. Advanced Search

検索ボックスにキーワードを入力して検索

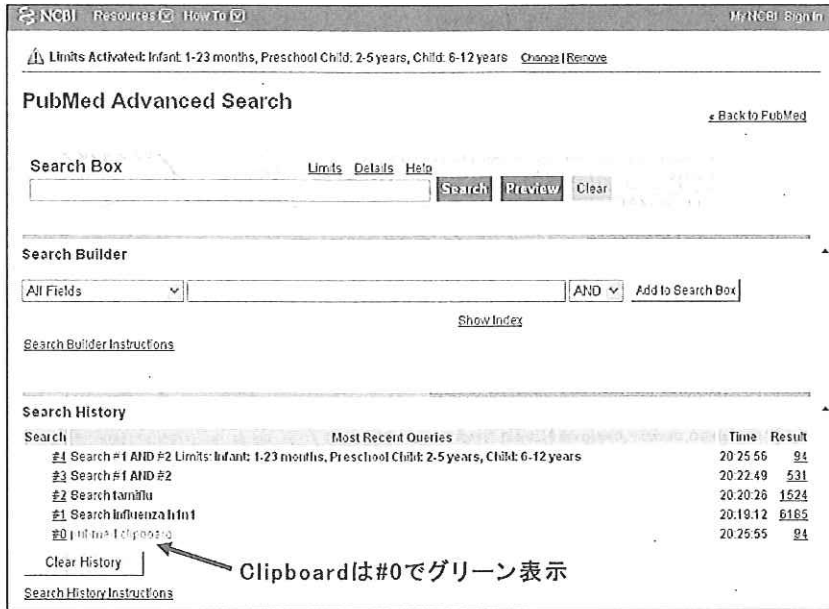


図4 Advanced Search

したら、ぜひAdvanced Searchをクリックし詳細画面へ行ってみてください(図4)。こちらは検索式が順番に並び、History(履歴)が見られますので、各々の件数を見ながら掛け合わせたり、別のキーワードを試したりできます。基本的にPreviewボタンを使ってください。フィールドも指定できます。検索式の中の「#0」はクリップボードにある文献で、グリーンで表示されています。これも検索に使えます。

検索途中で新しいHistoryが表示されないことがあったら、ブラウザのリロードをクリックするとよいでしょう。

## 2. Limits

検索の最初からでも検索の途中で、Limits機能は使えます。絞込み画面です(図5)。年齢・性別・言語、文献の種類など必要な項目にチェックを入れてSearchボタンをクリックします。検索結果には上の方に、Limits Activatedと表示され、何の項目で限

定しているかがわかります。Removeをクリックしない限りこれらは有効です(図6)。また、自動マッピング機能がありますので、それを確認するには、右側メニューにあるSearch Detailsをご覧ください。

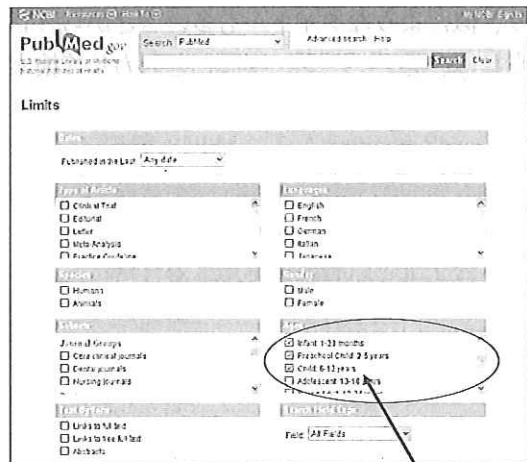


図5 Limits

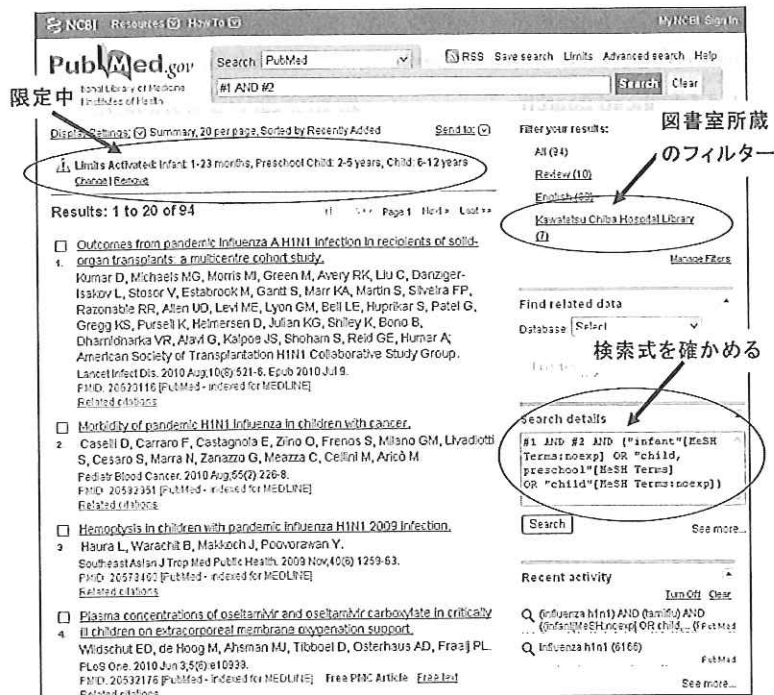
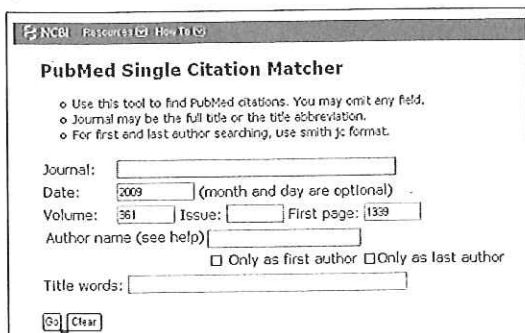


図6 検索結果

### 3. 相互貸借での文献書誌確認

相互貸借で文献書誌事項の確認のため、よく Single Citation Matcher を使っていることと思います (図7)。雑誌名は長いこともあり、似たようなタイトルも多いことから、私自身は、巻、ページ、年などを入力して検索しています。



条件を入力してクリック

図7 Single Citation Matcher

また、フロントページの検索ボックスに直接、“N Engl J Med 2009 361 1339” などを入力することも可能です。雑誌名、著者名、巻号年などを入力すると、Citation Sensor が起動するようになっています。もちろん、PMIDがわかっているときには、その番号を使うのが簡単です。

### 4. PubMedのカスタマイズーとにかく始めてみよう！ MyNCBIとLinkOut

検索結果に、通常のPubMedにはない、キーワードに色が付いたり、自作のアイコンが表示されているのは、PubMedをカスタマイズしているからです (図8)。フィルターに Kawatetsu Chiba Hospital Library という項目を作って、所蔵文献に絞ることもできます (図6)。

## 5. EBM、そして診療ガイドライン

MeSH DatabaseやJournals Databaseのページは、現時点ではリニューアルされていませんが、図書館員がよく使うデータベースです。特にEvidenceを求められる検索には、MeSHをよく知ることが大事でしょう。今回、Abstract形式で表示したとき、MeSH用語が非表示になりましたが、「+」マークをクリックして展開することができます。

また、リニューアルしたClinical Queriesもチェックしてみてください。さらにLimitsの中の文献の種類、Clinical Trial、Meta-Analysis、Practice Guideline、Randomized Controlled Trial、あるいはその他のPublication Typeも利用してみてください。

## V. 『図解PubMedの使い方』改訂への道のり

ここでは『図解PubMedの使い方』改訂作業を、少しだけ振り返ってみたいと思います。著者として新たに岩下愛さんと山下ユミさん、監修者として阿部信一さんと私の4人が決まったのが、2009年11月17日でした。それから作業開始して約3か月、怒涛のような日々でした。

1月25日に原稿締め切り、入稿。厳密には翌早朝26日入稿が完了しました。そして27日に突然、NLMからAdvanced Search画面変更予定のアナウンスがあったのです。これには著者監修者一同、大きなため息が出ました。ただ、校正段階で大幅に修正できたことが幸いでした。

2010年2月3日Limitsが独立、Limits画面の再登場でした。初校段階で差替え、索引も修正。2月16日には丸一日印刷所で再校、校了となりました。3月初めには印刷も終わりました。

たった3か月で発行までこぎつけたのは、今回が初めてです。著者のお二人の仕事ぶり

オリジナルアイコン



図8 検索結果 PubMedのカスタマイズ

MyNCBIでは、検索式や結果を保存したり、表示形式を設定できます。検索キーワードに色を付けられるハイライト表示や、自館の所蔵に絞ることができるフィルターなどは、この機能です。

LinkOutでは、PubMed検索結果にオリジナルアイコンを表示し、そのアイコンから自館で契約している電子ジャーナルへリンクしたり、冊子の場合は所蔵状況を案内できます。MyNCBIとLinkOut、いずれも無料で設定できます。

MyNCBIは個人の設定ができますが、その設定内容を共有することができ、図書館などで共有するとハイライト表示やフィルター、LinkOut機能を利用者に提供できます。

まず、アカウントの登録をし、UsernameとPasswordを取得し、さまざまな設定、登録をして、専用のURLを作成します。例として、当図書室のPubMedのURLは、[http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?myncbishare=ijpkawachlib&holding=ijpkawachlib\\_fft](http://www.ncbi.nlm.nih.gov/sites/entrez?myncbishare=ijpkawachlib&holding=ijpkawachlib_fft)となっており、図書室のホームページからリンクしています。これらの詳しい設定方法については、『図解PubMedの使い方』<sup>1)</sup>第6章やその他の文献をご覧ください<sup>6,7)</sup>。

には感心しました。それに加え、阿部さんのPubMedに対する情熱と知識。私はいえ、表紙のデザインに頭を悩ませていたのですが。

今回の改訂作業で、PubMed内容そのもの以外にもたいへん勉強になりました。4人で共有したDropBoxというオンラインストレージサービス。自宅でMac、職場でWindowsの私にもピッタリでした。初めて印刷所の入稿システムを使ったこと、Zipファイルを作成しMacからWindowsに送ったり、いろいろRSSを設定してみたり。初めてGIMPという画像ソフトも試しました。他にも小さな初めての体験がたくさんありました。

## VI. おわりに

PubMedはいつまた更新するかわかりませんし、医学系図書館員としては常にチェックしていなければなりません。RSSを利用してNLM Technical Bulletin<sup>8)</sup>やシソーラス研究会<sup>9)</sup>のページをチェックするのもいいでしょう。また、Eメールで最新情報を知らせてくれるサービスもあります<sup>10)</sup>。

本稿は、2010年7月17日に開催された第17回日赤図書室協議会研修会での講演を加筆修正したものです。

今年の夏はことのほか暑く、そんな中でもたくさんの方々が集まり、熱気あふれる楽しい会となりました。皆さまに厚くお礼申し上げます。

## 参考文献

1) 岩下愛、山下ユミ：図解PubMedの使い方：インターネットで医学文献を探す。改訂第4版。東京：日本医学図書館協会；2010。

- 2) 阿部信一：PubMed：最新の機能攻略法。日赤図書館雑誌 2009；16(1)：18-25。
- 3) 山崎むつみ：PubMed改訂2009年10月－2010年2月。医学図書館 2010；57(1)：94-8。
- 4) 山下ユミ：最近のPubMedの変更点。オンライン検索 2009；30(3/4)：82-90。
- 5) 大谷裕：PubMedの基本的な使い方およびエビデンスに基づいた文献の検索。情報の科学と技術 2010；60(7)：258-64。
- 6) 諏訪部直子：PubMedを使いこなす：LinkOutとMyNCBIの紹介。ほすびたるらいぶらりあん 2006；31(4)：255-9。
- 7) 和気たか子：PubMed LinkOut：病院図書館室として参加して。日赤図書館雑誌 2004；11(1)：25-8。
- 8) NLM Technical Bulletin. [引用 2010.9.15]. <http://www.nlm.nih.gov/pubs/techbull/tb.html>
- 9) シソーラス研究会。医学用語を歩く。[引用 2010.9.15]. <http://homepage3.nifty.com/sisoken/>
- 10) NLM Technical Bulletin E-mail Subscription Service. [引用 2010.9.15]. [http://www.nlm.nih.gov/pubs/techbull/ja10/ja10\\_tb\\_govd.html](http://www.nlm.nih.gov/pubs/techbull/ja10/ja10_tb_govd.html)